



おどろきの植物 不可思議プランツ図鑑
《誠文堂新光社》 木谷 美咲/著



【470/7】

動物と比べて地味な印象がある植物（矢礼）ですが、世界には「なんでこんな姿に!？」と、思わず目を疑うような植物がたくさんあるんです！動物のように動けない植物が厳しい環境で生き抜くために進化していく姿は、神秘的でとても興味がわきます。

植物はレア度別に紹介されており、レア度1～3までありますが、1号はレア度2から初めて見る植物ばかりでした。ロマネスコやラフレシアはなんとなく写真で見たことがあるけど、「どんな植物なの？」と聞かれると説明できません。そんな、何となく知っているけどよく分からない…という疑問も解決！

ちょっと難しそうな感じがしますが、博士と男の子が会話形式でテンポよく紹介してくれるので、サクサク読めます。

イラストもフルカラーで分かりやすいので、はじめの方にもおすすめです！

僕が答える君の謎解き

《星海社》紙城 境介/著，羽織 イオ/画

推理小説といえば、探偵と相棒が真実にたどりつくまでが描かれたものが定番ですが、一味違った推理小説はいかがですか？

天使のような見た目の明神凜音は無意識で犯人が分かってしまうというすごい能力の持ち主。そう、この本では、最初に犯人が分かっちゃいます。(びっくり!)でもどうい推理でその結論に至ったのかが彼女自身にも分からない…。そこで伊呂波透矢が明神凜音の推理を論理的に推理する…という物語です。

今までの小説と違うところは、推理した人も一緒にその推理にたどり着いた経緯を考えるところなんです。いや無意識下でなにが行われとんねん!ってなるけど、一緒にわくわくしながら読み進めることができます。そしてツン強めの明神と伊呂波の関係性も気になります…!恋愛小説としても楽しむことができる一度で二度おいしい一冊です。

パズルのピースがハマって完成するような一つ一つ進んでいく物語、楽しんでみてはいかがですか？



【F913.6/カミ】



甲子園! 愛知4強物語
強豪校の歴戦の記録と感動秘話
《徳間書店》鶴 哲聡/著

始まりました、春のセンバツ高校野球(この文を書いている日からちょうど始まりました)!みなさんとそんなに歳の変わらない選手が会場を沸かせています!この中には未来のプロ野球選手もいるはずですよ。

さて、本題に…。今回はみなさんにディープな高校野球の世界を紹介したいと思います。

中京、名電、享栄、東邦。この4つの学校は高校野球ファンから「愛知4強」とか「私学4強」と呼ばれて、注目されています。

今回紹介するこの本は、その学校ごとに印象深い試合の内容やエピソードが詳しく書かれているところがおすすめポイントです。たまたま自分がテレビで見ていた試合についても書かれていて、「あの時、選手はこんな気持ちだったんだな。」とか、「堂々としてるようにみえてもやっぱり高校生だよな。」とか思ったりしました。

読み終わったころにはあなたも高校野球オタクになっているはずですよ!



【2FYA L783.7/コ】

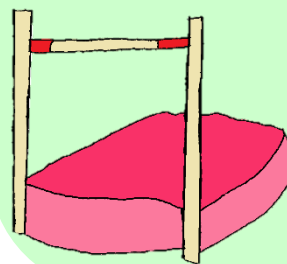


空は逃げない

《光文社》まはら 三桃/著

同じ大学の陸上部で棒高跳びの選手をしている佐藤倫太郎と佐藤林太郎の二人は、同姓同名で紛らわしいのでそれぞれA太郎・B太郎と呼ばれていた。ある日、以前から二人の練習するところを熱心にスケッチしていた芸術学部の石井絵怜奈が突然、自分も棒高跳びをやりたいと言い出した。

大学時代と数年後の現在を交互に描写しながら、三人が過去や挫折と向き合い、新しい道へと進んでいく姿を描いた青春小説です。三人それぞれがたどり着いた答えに爽やかな気持ちになれる一冊です。もう一つオススメしたいのが、物語の主軸にもなっている棒高跳びの描写です。あまり馴染みのない競技だと思いがちですが、一連の動作の描写が丁寧で、競技中の映像がスッと頭に浮かんできます。



林太郎は作中で棒高跳びの注目度が低いことを悔しがっているんですが、この本を切っ掛けに興味を持つ人もきっといると思います。

【2Fポピ F913.6/マハ】